

よむ²NEO No.19

R.2.5.12(火)

もし 銭天堂にたどりつけたら…
あとはわがているね？



六条教授はひそかに大がかりな研究を始めようとしていた。
紅子も、妙な動きにうすうす気づいているのだが、その目的がよめない。
「もうしばらく ようすを見ようじゃござんせんか」

■ 銭天堂 シーズン2のはじまりです。
熱帯焼き、スクープクレープ、ひつたりピーナッツ。
いつもながら 鬼太力的な駄菓子の数々。
見れば どうしてもほしくなるお菓子やおもちゃ。
あまりの引力に、お客様は 注意書きをろくに読まずに食べて失敗しますか?
私たち、銭天堂で自分にひつたりのお菓子を見つけてしまったら
紅子さんの忠告がちゃんと耳にはいるかどうか…自信がありません。

「ふしき駄菓子屋
銭天堂13」
廣島玲子・作
(偕成社)
NDC.913

さまざまな製造年月日の
小銭を集め、モニターを
募集して、小さな悩みや
望みをもっている人に
持ち歩かせる。
運良く「銭天堂」に
たどりつける人がいたら

---。



「魔女のゲーム」には かかわらないで
「都會のトム&ソーヤ
外伝 16.5 魔女が微笑む夜」
はやみねかおる・作 (講談社)
NDC.913

前作のRRPG「スパイシティ」の後始末で、すかし金欠になった内人と創也に、ソラ 怪しげなアルバイトの斡旋が。それはあるテレビ番組の一環で、地下に作られ放置された巨大複合商業施設「MEIMU」からお宝をさがすこと。

しかし、ふたを開けてみればそれは、命が惜しければ手を出すなど釘を刺されていた「魔女のゲーム」への参加だった…

「きみたちには退屈なゲームしか作れない」とマクリさんに言われ、「そうではないことを創也と二人で証明してみせます。」と言い放つ内人。

終盤の二人のやりとりは都會トムシリーズの原点にまでさかのぼって考えさせるものでした。
「なぜ創也のパートナーは内人でなくてはならないのか…? その鍵は、内人が幼少期におばあちゃんから仕込まれた「心の有り様」ではないのか。そんな思いに至りました。

番外編とはいえ、本編と呼んでも良いレベルの読み応えある一作でした。あ～満足!

(今回、ある別シリーズからゲスト出演者が。あの、驚異のドジ娘です!そして彼女が物語のキーパーソンになっているのです…)

